



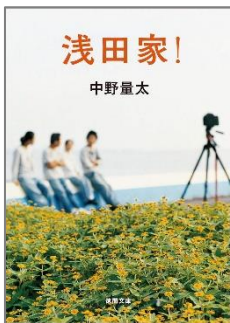
2021年1月号

L.N.

ライブラリー・ニュース

2-5 2-5

発行 図書委員会 担当 清水・田中・司書



『浅田家!』中野量太著（徳間文庫）

この話は、写真家浅田政志を通して、家族のあり方について描いた実話で、写真を通し、家族の大切さを実感できる作品です。

きっとこの話を読むと心が温まり、大切な人に感謝の気持ちを伝えたいくなるでしょう。



『か「」く「」し「」ご「」と「」』住野よる著（新潮文庫）

特別なチカラを持っている5人のクラスメイトの日々を描いた青春小説。

特別なチカラというのは、「人の頭の上にクローバー（哀）、ハート（楽）、スペード（喜）、ダイヤ（怒）が見え、人の気持ちがわかる能力」や「人の心拍数が見える能力」などで、どの能力を持っていたらとても楽しいだろうなと思います。また、5人のクラスメイトが性格はバラバラなのですが、みんなとても魅力的なので好きになると思います。



『ケーキ王子の名推理』七月隆文著（新潮文庫 nex）

ケーキが大好きな女子高生とパティシエを目指す男子高生のスイーツ絡みの謎解き物語。「推理」とタイトルにあるもののミステリー要素はそこまでなく、スイーツみたいに甘さと苦さがつまったお話です。作中にいろんなケーキが出てくるので、読んでいるとケーキがたべたくなってきます。



『よるのばけもの』住野よる著（双葉文庫）

夜になると、化け物になる少年がある日、化け物の姿で忘れ物を取りに夜の学校へと忍び込む。すると、そこで1人のクラスメイトと出会い、交流を深めていく。この物語では学校でのいじめについて書かれており、現在学生である私たちには特別響くものがあると思います。また、なぜ少年が化け物になってしまうのかという所にも注目して読んでもらいたいです。